

報道資料



©尾田栄一郎/集英社

令和4年（2022年）5月18日

清和文楽新作制作事業実行委員会

『ONE PIECE』×人形浄瑠璃 清和文楽プロジェクト始動！！

この度、熊本県出身の漫画家・尾田栄一郎氏が描く人気漫画『ONE PIECE』と連携した熊本地震からの復興プロジェクトの一環として、『ONE PIECE』を題材とする清和文楽（人形浄瑠璃）の新作を制作することが決定しましたのでお知らせします。

今回の挑戦により、若者や外国人など新しいファン層を開拓していくとともに、熊本県重要無形文化財である「清和文楽」の価値向上及び後継者育成等につなげていきます。

- 1 特別公演（初演） 令和4年11月5日（土）、6日（日）**
県芸術文化祭スペシャルステージ（熊本県立劇場演劇ホール）
なお、7月11日（月）13時30分から同ホールで制作発表（記者会見）を予定。
- 2 制作 清和文楽新作制作事業実行委員会（一般財団法人清和文楽の里協会、清和文楽人形芝居保存会、山都町、山都町教育委員会、熊本県）**
- 3 その他**
11月5、6日の熊本県立劇場での特別公演に向けて市民浄瑠璃隊を募集します。
詳しくは、清和文楽館ホームページをご覧ください。 <https://seiwabunraku.com/>



【問い合わせ】

清和文楽新作制作事業実行委員会

- 熊本県観光交流政策課 御手洗、岩田
TEL 096-333-2158（内線 5204）
- 山都町商工観光課 山崎
TEL 0967-72-1115

<人形浄瑠璃 清和文楽について>

約170年前（江戸末期）、清和村（現山都町清和地区）を訪れた淡路の人形座から地元の農家が習い覚えたのが始まりです。盛衰を繰り返しながら、農村芸能として受け継がれてきました。

昭和40年代に太夫・三味線が途絶え、時代の変遷もあり公演機会が減少しましたが、昭和54年に熊本県重要無形文化財に指定されたのを機に文楽の里づくりで清和文楽の再生を果たし、平成4年に九州唯一の人形浄瑠璃専用劇場として、清和文楽館が完成しました。

平成6年には太夫・三味線が復活し年間180回程度の公演を行ってきました。

現在、太夫・三味線3名（財団職員）と人形遣い9名（保存会7人・財団職員2人）で清和文楽館での定期公演・予約公演の他、これまでに国内（九州・関西・関東他）、海外（アイルランド・イタリア・ギリシャ・韓国他）でも公演を行っています。

また、令和3年には、疫病を鎮めるとされる妖怪アマビエを題材にした新作人形浄瑠璃、熊本県立劇場プロデュース「肥後アマビエ戀歌異聞（こいうたいぶん）」を発表しています。



清和文楽
SEIWA BUNRAKU